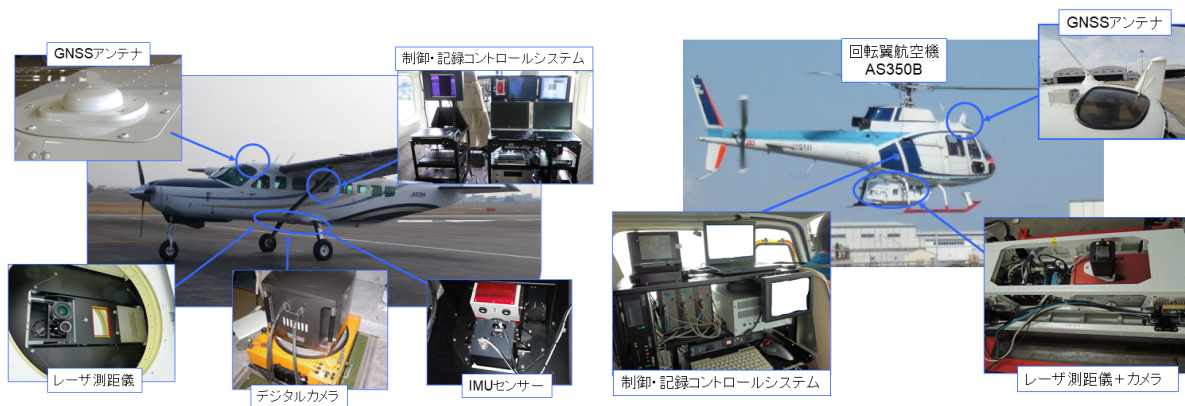
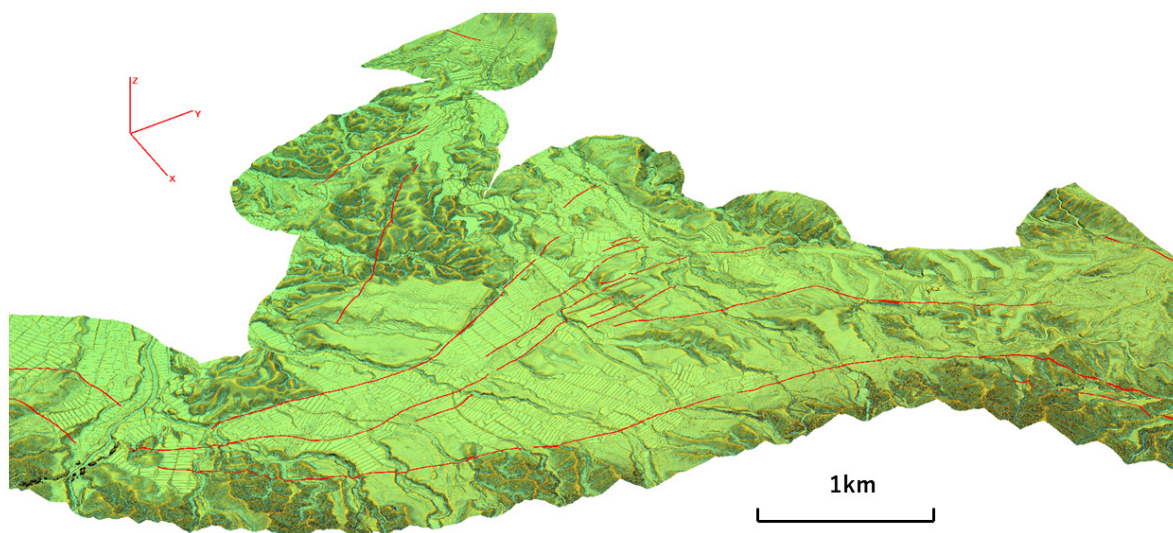


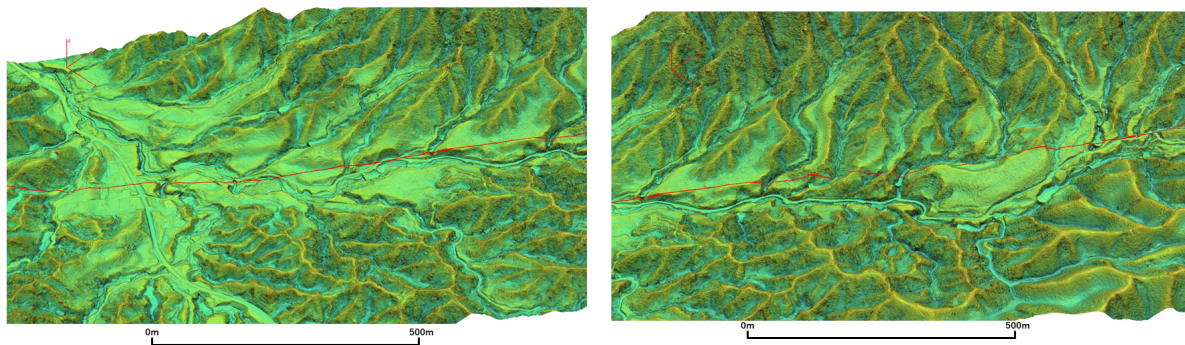
1 震源断層シナリオ評価のための詳細位置形状・変位量調査及び総合解析



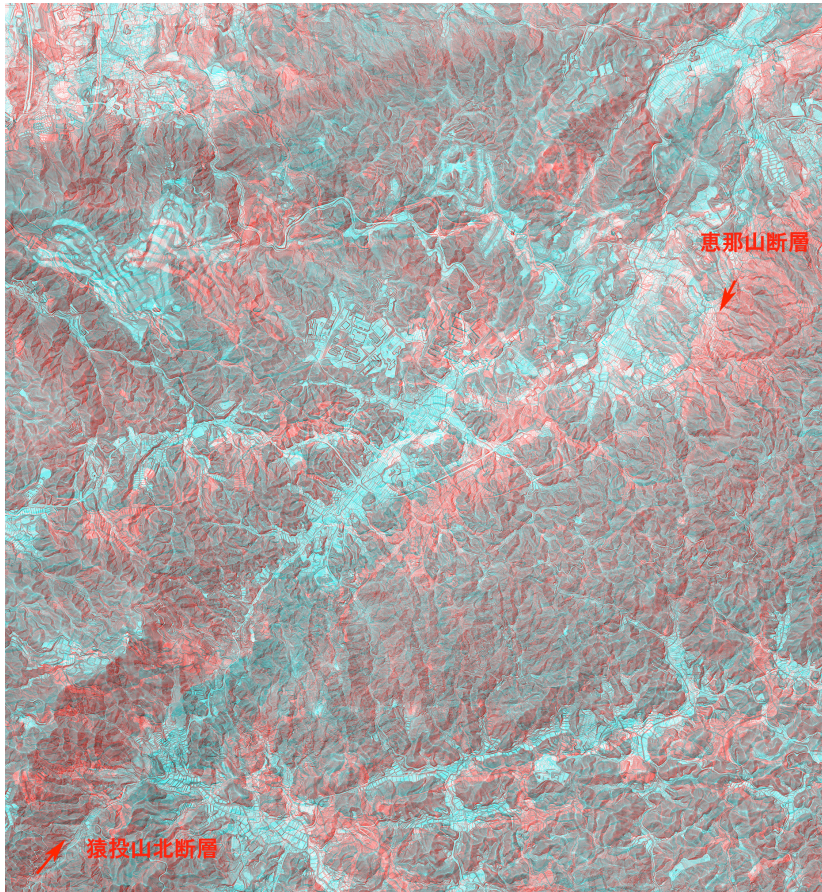
固定翼・回転翼併用による高解像度 LiDAR 計測（中日本航空作成資料）



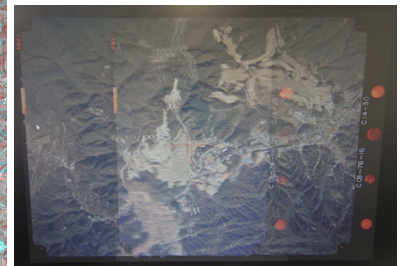
地形鳥瞰図による活断層地形の表現（恵那山断層、中津川市飯沼付近）



猿投山北断層に沿う谷屈曲地形（瀬戸市東白坂付近）

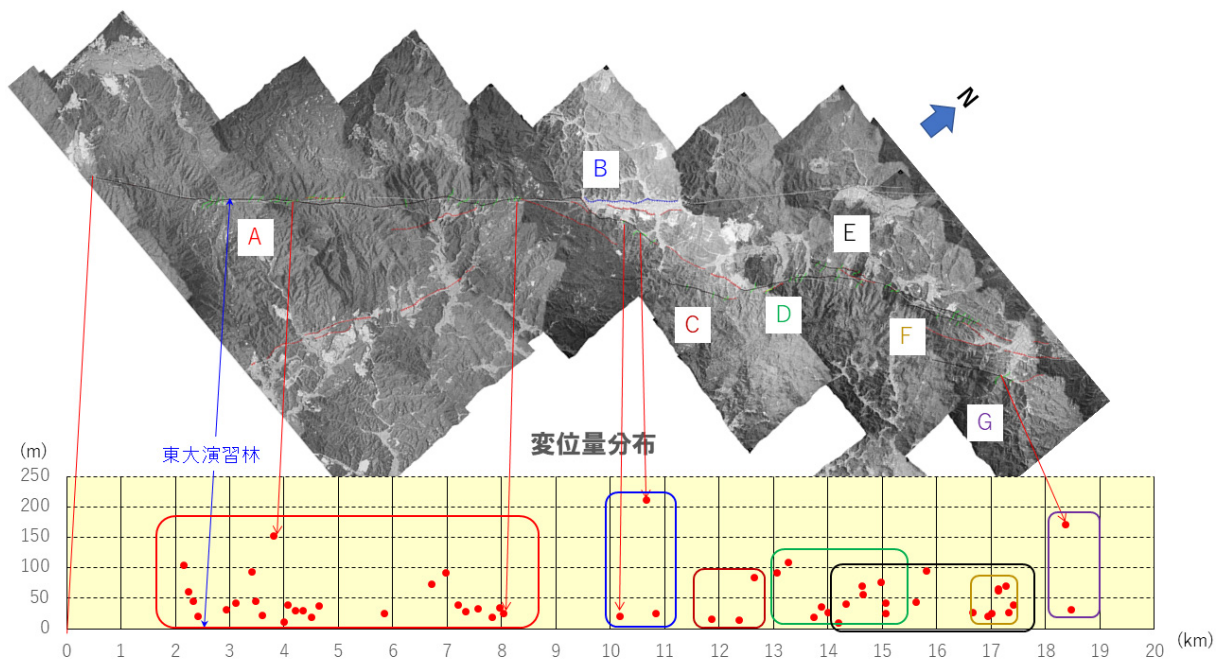


写真計測システム



3D 計測システムの画面

猿投山北断層・恵那山断層の接合部付近のアナグリフ画像



猿投山北断層・恵那山断層の接合部付近の横ずれ量分布

2 地震発生予測のための活動履歴調査



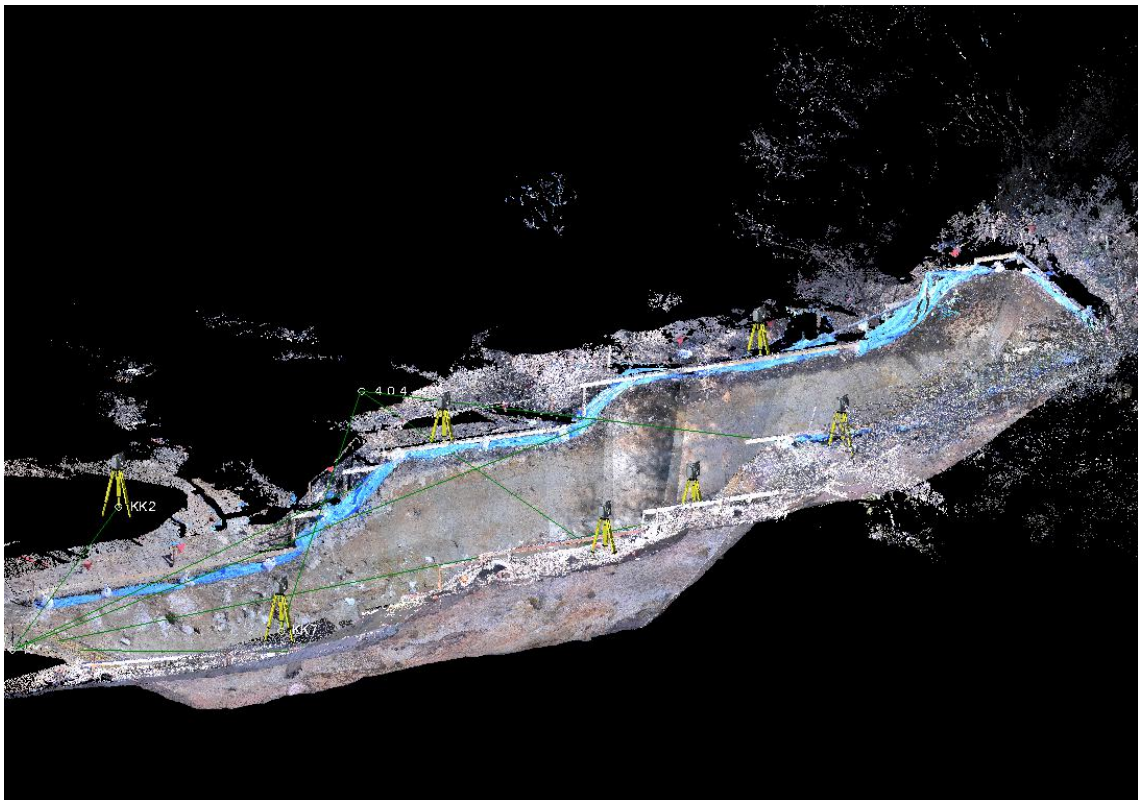
猿投山北断層東白坂トレンチ周辺の空撮写真
UAV を用いて上空から撮影（撮影者：鈴木康弘）



猿投山北断層東白坂トレンチ現場の様子（撮影者：吾妻 崇）

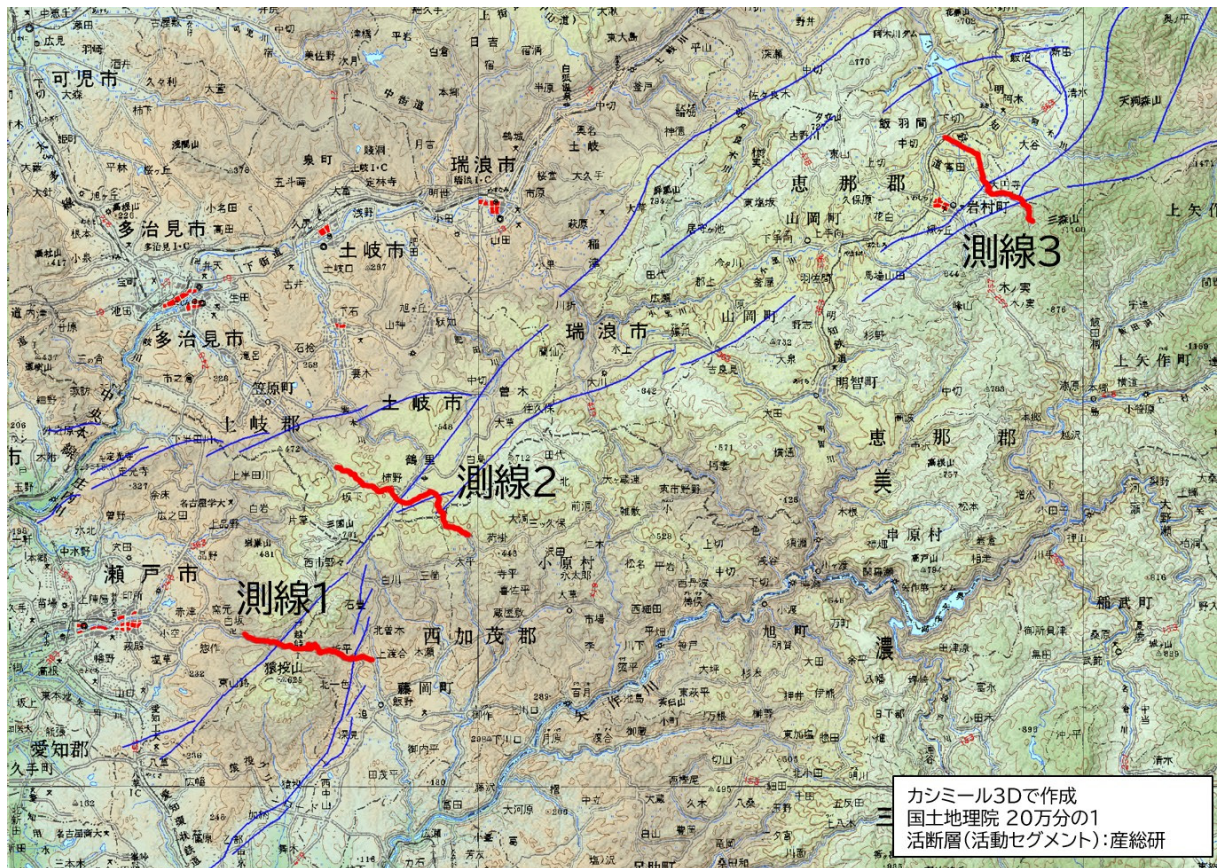


恵那山断層富田トレンチ周辺の空撮写真
UAV を用いて上空から撮影（撮影者：鈴木康弘）



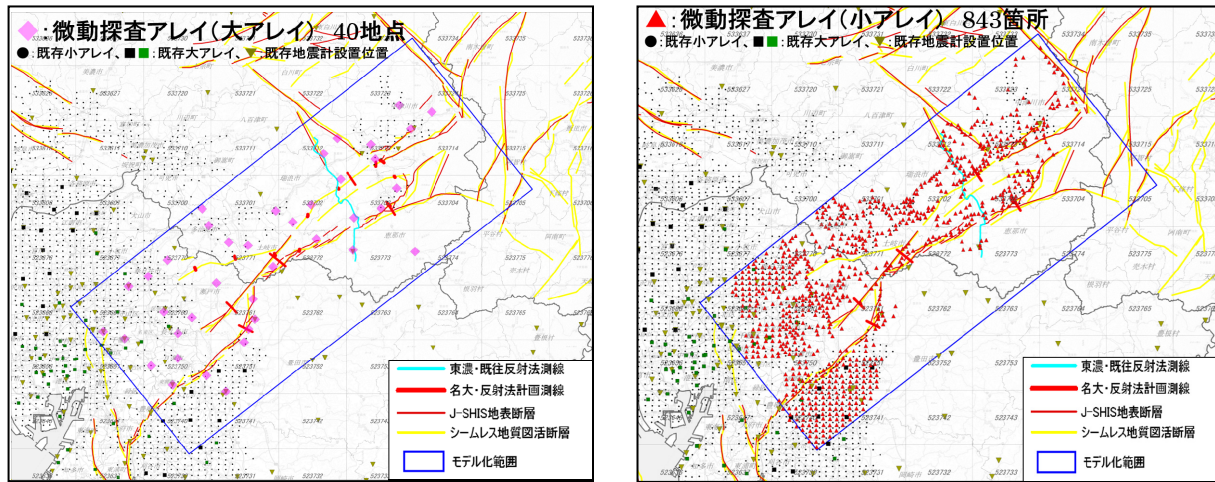
恵那山断層富田トレンチの三次元点群画像
地上 LiDAR を用いて取得したデータを用いて作成

3 断層の三次元地下形状把握のための調査観測

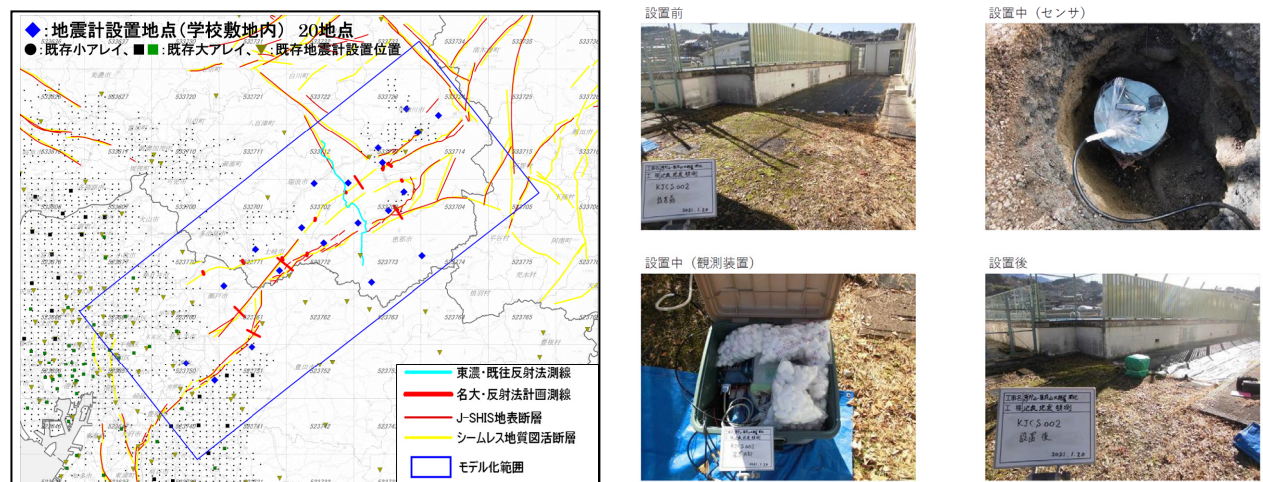


図上検討および現地踏査によって選定した浅部反射法地震探査の測線。測線1～3の計17.7 kmで2021年度に調査を実施する。国土地理院20万分の1地図に加筆。断層の地表トレースは産業技術総合研究所による活断層データベースによる。

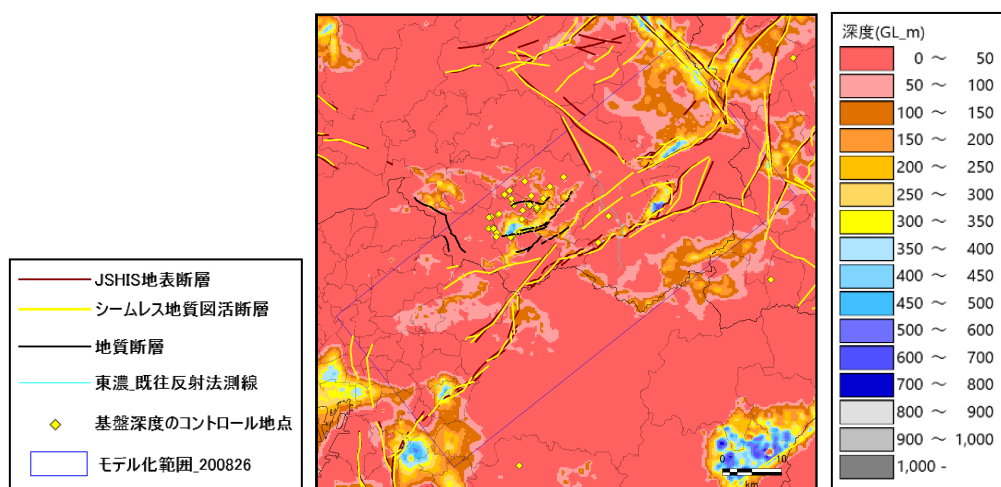
4 断層近傍および都市域における強震動予測向上のための調査



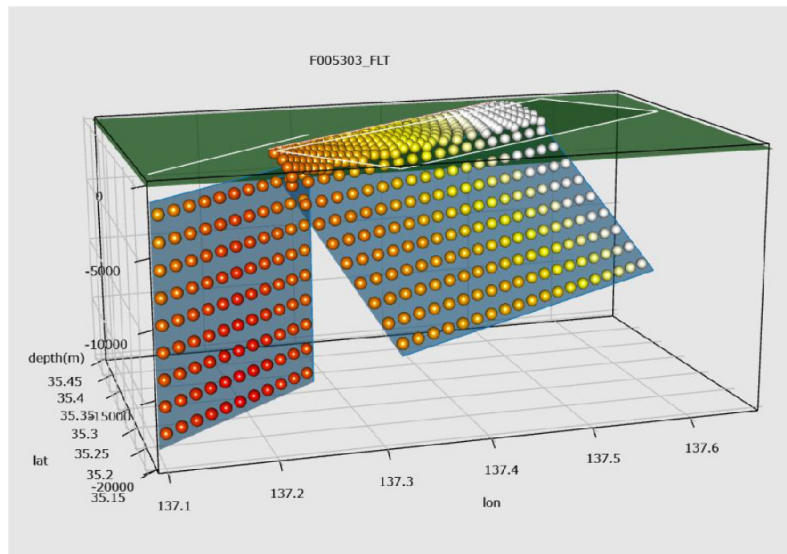
微動アレイ観測点分布図（左：大アレイ、右：小アレイ）



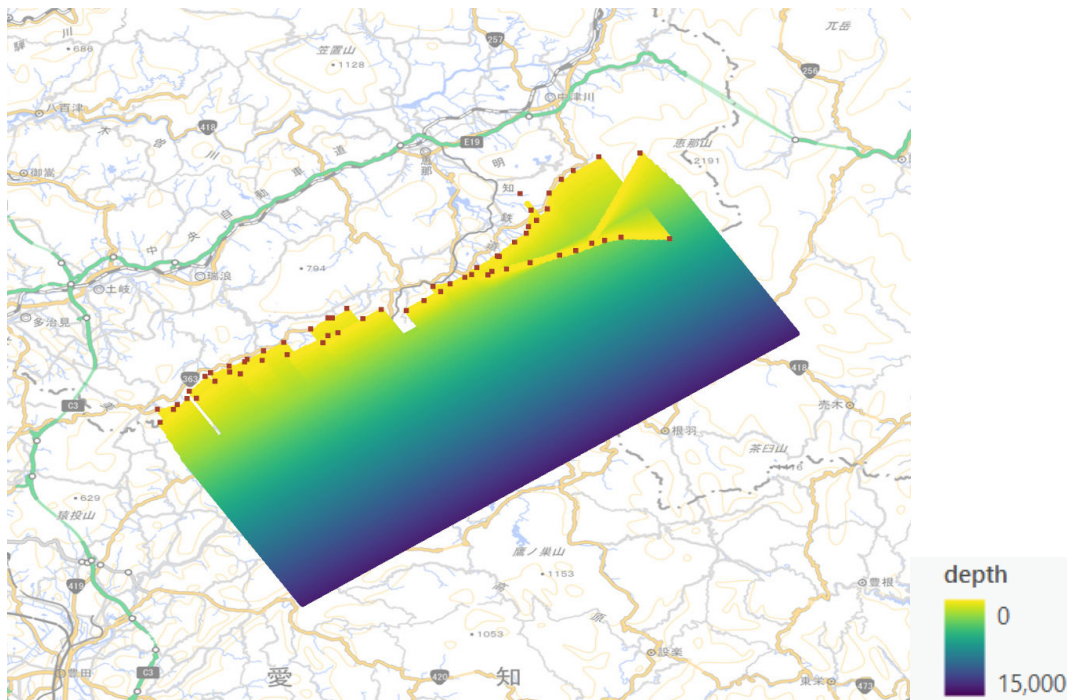
地震観測地点分布図（20カ所）と地震計設置状況（中津川市・落合中学校）



重力解析結果とボーリングデータによる重力基盤（地震基盤相当）上面深度
（図の背景地図は国土地理院、シームレス地質図活断層は、20 万分の 1 日本シームレス地質図編集委員会、J-SHIS 地表活断層は、防災科学技術研究所の地震ハザードステーションによる）

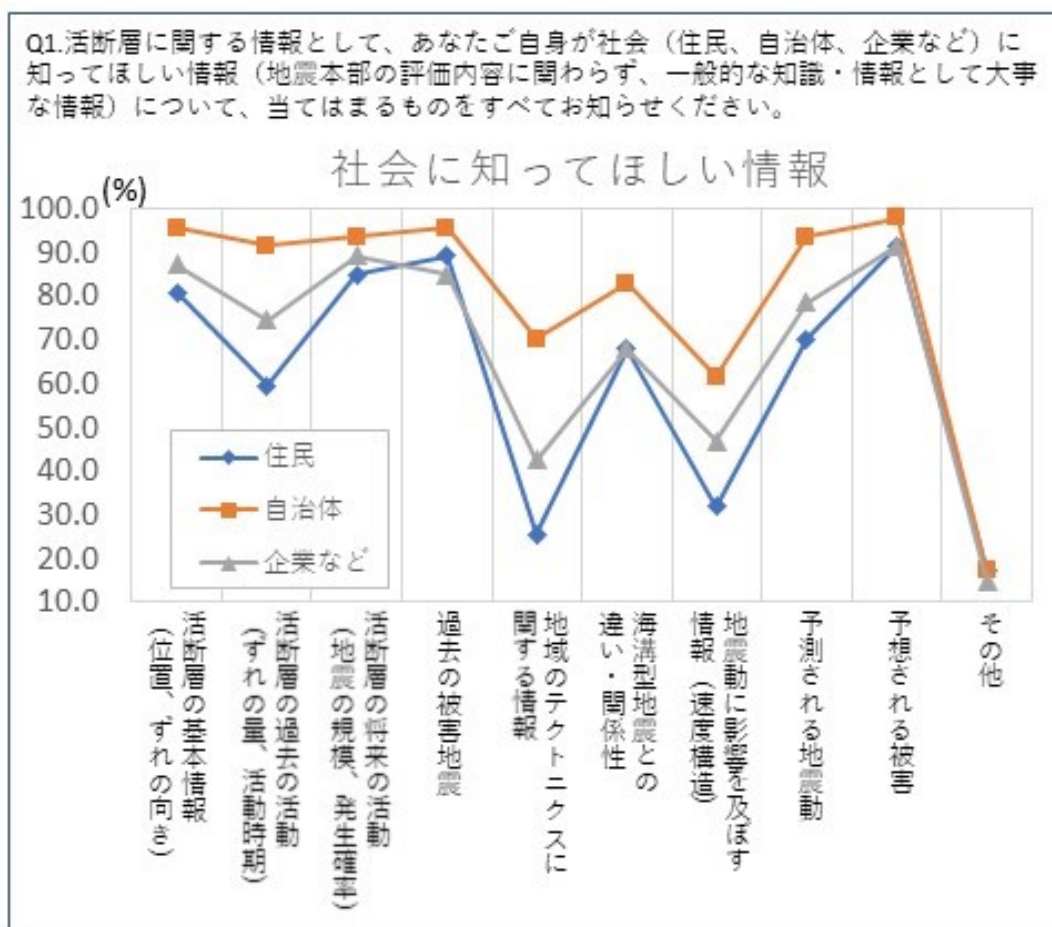


作成した震源断層ファイルの html 表示例

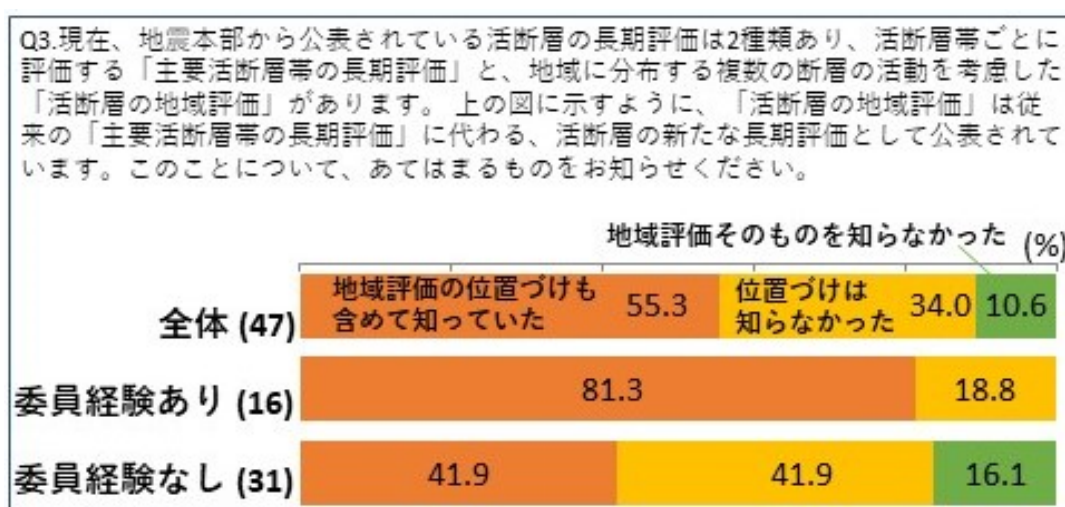


恵那山-猿投山北断層帯（東部分）の地中断層および浅部断層の地図上への投影。カラスケールは震源断層モデルの深さ(m)を表す。赤い四角の点は地表断層トレースを近似した線分の端点位置を表す。背景地図は国土地理院による。

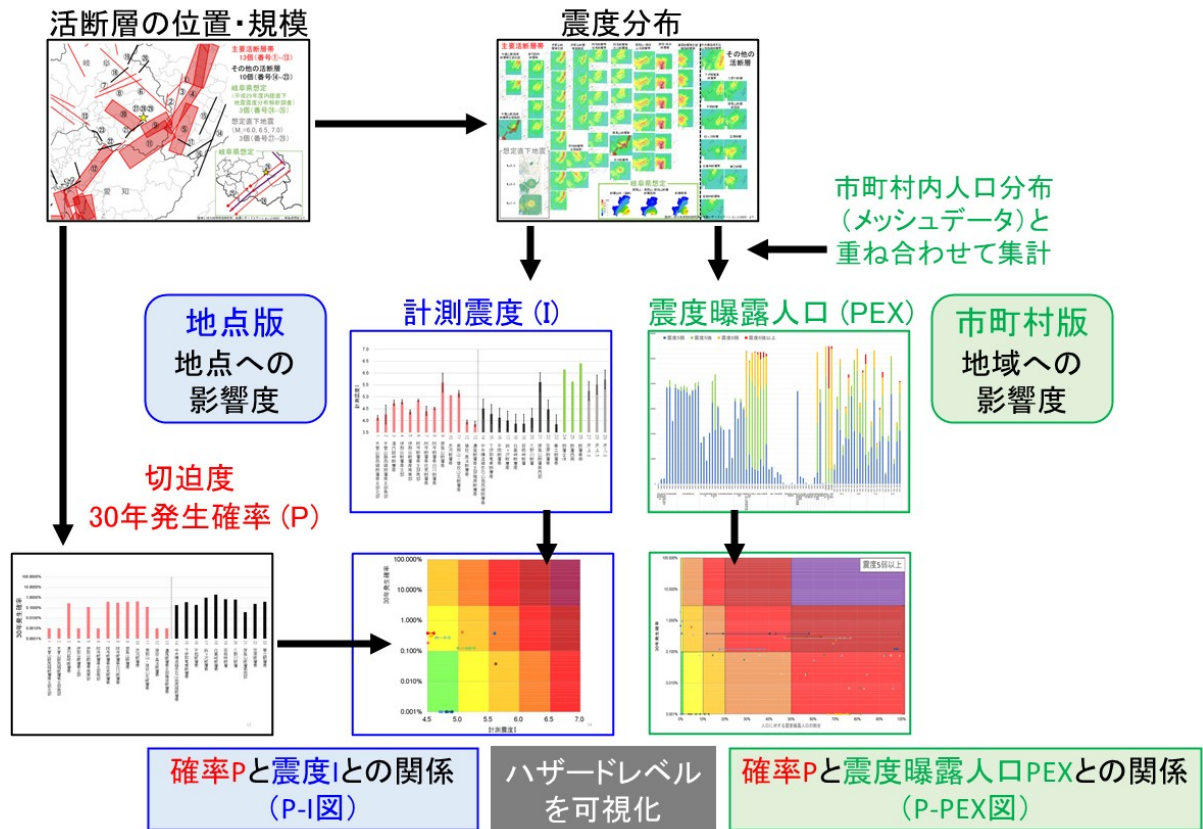
5 不確定性を有する地震予測情報に関する情報発信のあり方に関する調査研究



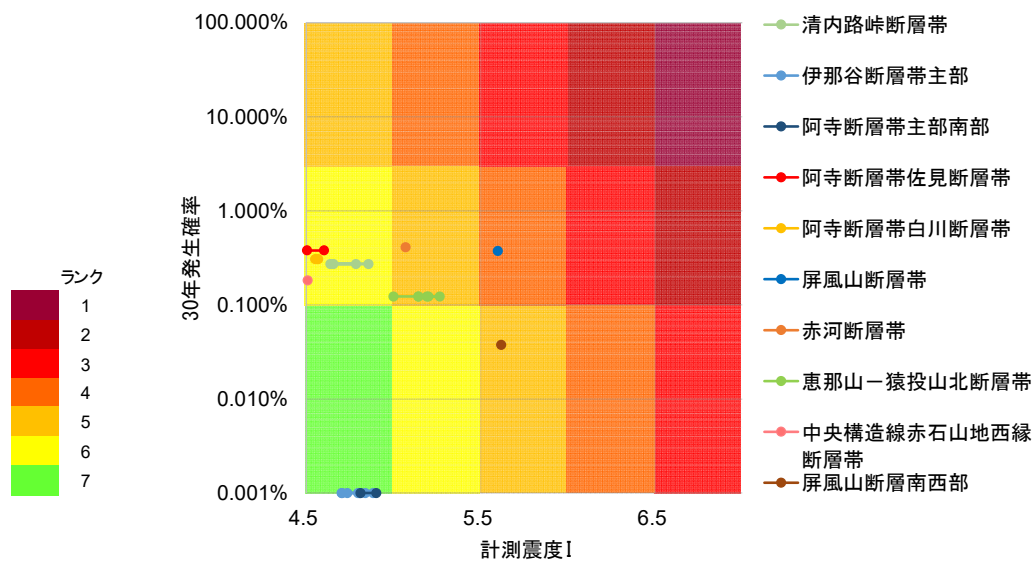
活断層ならびに地震の専門家が知ってほしいと考えている、活断層に関する情報【情報提供の対象（住民、自治体、企業など）による比較を含む】



活断層ならびに地震の専門家の「活断層の地域評価」に関する認知状況【地震本部の委員経験の有無による回答の比較を含む】



地点版および市町村版の地震ハザードプロファイルの構成



P-I 図 (Probability-Intensity 図) とハザードマトリクスによる表示